

農園通信

2025 年 9 月・10 月

発行・問合せ先: 島本町農業振興団体
協議会・町民農園部会 福田

fukuda-ka@amail.plala.or.jp

🌱 秋・冬野菜の種まき、苗植え

まだまだ猛暑が続きます。日本は四季から二季へ、10月中旬ごろまで夏で、そして一気に気温が下がるかもしれません。栽培開始の時期が難しいですね。

◇8月中旬種蒔きのインゲン豆、畑に直播きするときは強い日差しを防げるように、不織布のべた掛けと防虫ネットのトンネル掛けをします。、場合によっては少し(トンネルの頭頂部だけ)遮光ネットを掛けた方が良いでしょう。

◇ブロッコリーの苗は早く植えた方が株が大きく育って側芽も多く収穫できます。しかし、本葉 4, 5 枚の小さい苗を強い日差しの畑に植えるので、防虫対策の防虫ネットはもちろん、苗が元気に成長を始めるまではトンネルの一部に遮光ネットを掛けた方が良いでしょう。

◇9月中旬に菊菜、サニーレタスの種を畑に蒔きたいですね。去年は気温が高すぎて発芽が良くなかったようですが、一度トライしてだめだったら種はたくさん入っているので蒔き直しをしましょう。

◇暑い時期の人参の種まきは難しいです。農園通信 2025 年3月・4月号も参考にしてください。

***野菜の高温対策、日差し対策は野菜の様子を見て野菜の気持ちになってしてやってください。**

◇ニンニクの栽培 = 9月から10月中旬までに鱗片を植え付けます。大きな鱗片ほど大球になりやすいので、大きくて形が整ったものを選びます。

発芽まで少し日数が掛かりますが、発芽後は自然任せで大丈夫です。追肥等育て方はだいたい玉葱と同じ。マルチも玉葱用が使えます。光合成によって葉で作られる養分が、冬の間に根と茎に蓄えられ、春になって鱗茎に転流されるので、越冬前に地上部を十分に生育させておくとうれしいです。

4~5月になると「とう立ち」して花茎が伸び出します。そのまま放っておくと、花の方に栄養が取られ地下部の球が太らなくなるため、適当な時期(葉の先端と同じくらいの高さ)に摘み取ります。「ニンニクの芽」として食べられます。6月頃、葉が半分ほど枯れてきたら収穫です。

作りやすい野菜ですが、アブラナ科(特にキャベツ)との混植は相性が悪いとのこと。

🌱 はたあきひろさんの家庭菜園実演セミナー in 島本町農林業祭

日時: 11月29日(土) 場所: 島本町農林業祭(史跡桜井駅跡史跡公園)内のブース

昨年7月28日に「菜園力で暮らしが変わる」と題して素敵なお話を伺いました。今回は【「種まき」や「苗の植付け」の基本を中心に、プランターなどを使って実演を入れながら】お話して頂きます。

はたさんは、500坪の農地を借りて自給自足の米・野菜づくりをされています。単なるハウツウものでない、野菜に向き合う姿勢も学びたいと思います。

詳しくは、11月しまもと広報をご覧ください。



8/19 苗づくり・下から吸水



NHK 総合テレビ「ぐるっと関西おひるまえ」の野菜づくり講師

(;^ω^;)野菜は育ち



畑の作業はきりが無い。草とりにも水やりにも…
つつい無理してしまいがち。

**労力の抜き方を考えて！自然に
逆らわず、出来るのは、ほんの
少しの手助けだけ。**

経験談

(Hさん)8/12

この雨は恵みの雨ですね。畑は夏作が終わりかけで。冬作の準備に入る段階です。

キュウリは6本から200本収穫、33.3本/本で、終了。大玉トマトは3本から92個収穫、30.7個/本で、終了。白瓜は3本から39個収穫、13.0個/本で、終了。ナスは6本から159個収穫、26.5個/本で切り戻し。秋ナスを狙います。小玉スイカは2本から7個収穫、後1個残っているので4個/本の見込み。冬作の準備として、白菜、キャベツ、ブロッコリーを各12ポット8/4に種まき、順調に発芽しています。これから夏作の後仕舞、耕運、施肥、播種、苗植えと農繁期になります。

(Sさん)8/20

三回目の種まきでやっとサニーレタスの芽が出てきました。キャベツ、ホウレンソウ、ニンジンはまだ。秋どり用に埼玉県飯能市の野口種苗研究所から取り寄せた「神田四葉胡瓜」を10粒蒔きました。店頭ではF1種が多くなりましたが、袋には栽培方法の他、採種法、種子寿命、の記載がありました。イチゴは時期的には少し早いですがこのまま定植する予定で、ランナーの先の、三男坊、四男と言った小さな苗から順次移植しています。

(Fさん)

昨年大玉トマトの草取りで失敗。稲わらを敷いていたが草がすごくなったので稲わらの下にカマを入れて草を刈ったところ、稲わらの下まで伸びていたトマトの毛根を切ることになりトマトの木が弱った。それで、今年は黒マルチを張って植えた。草取りの苦労がなく、少雨だったこともあり豊作。失敗は、終盤の7/17の雨への対応。赤い大玉が一杯出来ていたが収穫を次の日に伸ばした。次の日、朝から予想外の雨で、トマトがみんな割れた。雨の前に収穫すべきだった。

【夏の草対策】夏は草で大変！

猛暑で畑に行くのさえ大変。

一方草はどんどん伸びる。

春大根と人参の収穫を終えた畝には草が繁茂する前にとりあえず黒マルチを張って夏をやり過ごす。



「農園通信」のアーカイブは以下で
<http://cf899019.cloudfree.jp/nogyoshinko/>
島本町農業振興団体協議会
(URL:住所が変更になりました)

<道具置き場のアシナガバチの巣を駆除>

アシナガバチが、畑の道具置き場が気に入ったのか、この3年毎年巣をつくる。今年も5月、6月、7月と巣を作った。5月、6月のものは小さかったので、ハ工用のアースジェットで簡単に吹き飛ばした。7月のものは10cm程と大きかったのでこちらも身構えて駆除した。これで終わりと安心していたところ、8/13 道具置き場の整理をしていたら突然黒いものが飛んできて5か所刺された。巣が攻撃されたと思ったのでしょうか、ハチも生きるために必死ですから。

いつの間にか直径15cm程の大きな巣が出来ていてびっくり。幸い手袋の上からだったので、腫れはあらかた2時間ほどで引いたが。

翌日アースジェットを噴射したが、ハ工用では死なない逃げるだけ、次の日にはハチが戻っていた。そこで蜂用の駆除用スプレーを使った。巣も落としたが、今回もハチは逃げたのでまた巣を作るかもしれない。

ハチは同じ場所(近くの場所)に巣をつくる習性があるとのこと。ハチには、受粉をしてくれたり野菜の害虫を捕食してくれたりとお世話になっているのですが、ここは駆除するしかない。*アシナガバチは攻撃しない限り襲ってこない。生きものどうし(ハチと人間)の節度ある付き合いを考える。



直径14cm